

平成 24(2012)年度「NGO 長期スタディ・プログラム」最終報告書

提出日	2013年 3月 10日
氏名	川田 薫
所属団体	アフリカ日本協議会
受入機関名(所在国)	Journalist against AIDS Nigeria (ナイジェリア)
研修期間	2012年 8月 22日 ~ 2013年 2月 20日

研修テーマ	ナイジェリアで HIV/AIDS に取り組む NGO とのネットワーク構築に向けた能力向上
全体研修目標	ナイジェリアにおける HIV 政策の現状把握と NGO のコミュニティへの介入状況について見識を深める

具体的な研修内容

- 1) コミュニティへの HIV 予防啓発のトレーニングの手法を学ぶ
- 2) ナイジェリアの NGO における海外からの事業資金の獲得を通じた国際保健医療のトレンドを学ぶ
- 3) 地方の NGO における HIV 予防、ケア、治療に関する活動の実態を通じてナイジェリアの都市地方間の HIV に関するアクセス状況を学ぶ

研修の成果

(目標に対し達成できなかった内容がある場合は、その理由とあわせて報告してください)

研修の成果として、HIV 予防啓発に関しては地域間格差、特に大都市と地方都市における、資金獲得のための海外や国内のネットワークのアクセスに大きな格差が認められた。こうした資金獲得の格差は、NGO 団体が地域で行う予防、治療、ケア・、サポートといったサービス提供の活動と比例する。サービスを受ける市民に対する情報や機会アクセスの不平等が生じており、この地方間の資金獲得のアクセスの不平等さは、ナイジェリアにおける地域ごとの HIV 陽性者の増加と関連していると思われる。この活動資金のアクセスの地域間格差の是正こそ、ナイジェリアでの HIV 感染の減少につながると考える。

一方で資金を得やすい大都市では、予防啓発、カウンセリング等のサービスをコミュニティに積極的に還元している。HIV 陽性者への差別の軽減を目的としたコミュニティへの啓発トレーニングは、コミュニティの地方行政担当も巻き込みながら、地域の若者から年配者、男女、職業のバランスに配慮した正しい知識を伝えていくための人材育成トレーニングを3日間にわたり行った。NGO スタッフの指導者としてのパフォーマンスも素晴らしく、参加者も連続3日間受講している姿勢にも感動させられるものがあった。

ただ、海外の資金提供機関のアフリカに対する国際保健のトレンドは、MDGS を意識した HIV オンリーからリプロダクティブヘルスの視座へと移行しつつあり、HIV を中心とした支援団体は、活動

範囲を国際社会の流れに応じて柔軟に対応することが必要とされており、マクロな視点での公衆衛生や国際保健に造詣がある人材の育成も必要になっている。

ナイジェリア政府の HIV 対策については、NGO に対しての定期的な資金提供はほとんど行われていないため、ナイジェリアの NGO は、自助努力によって海外から活動資金を得ている状況が続いている。

以上のようにナイジェリアにおける HIV 政策は、NGO の活動からみた場合には、情報や治療の格差につながっていることが理解できた。地方と大都市の格差は、NGO スタッフの行動や意識にも現れており、地方への予防啓発の重点化が急務であることも認識できた。

本研修成果の自団体の組織強化や活動の発展への活用方針、方法

本研修成果の活用に関しては、日本で暮らしているナイジェリア人コミュニティに対してより広く HIV 啓発活動に向けた介入が期待できる。現地の民族の言葉が多少理解できるようになったので、ナイジェリア人コミュニティからの受容度も高くなると考える。そのため、コミュニティとの信頼関係を築きやすくなるメリットを最大限に利用しながら、アフリカ人の健康意識を向上させていく方針である。

また、ナイジェリア現地の複数の NGO と良好な関係を構築できたので、今後は団体として現地ナイジェリアで様々なプロジェクトに共同で携わる取り組みを目指していく。

本プログラムや事務局側に対する提案、要望等

プログラムの期間ですが、6 か月が最長の滞在期間は、生活がやっと慣れたところに帰国となるため、もう数か月研修ができると、その国の NGO の実情や生活・文化などがそれぞれ結びついて、よりダイナミックな理解ができるようになると思いました。

また、所属 NGO のスタッフ側の事務作業も多少は負担があると思いますので、多少の賃金ないし謝金としてお金がつくとよいと思います。

JANIC 事務局に関しては、大変よくサポートをしていただいたと思いますので、特に要望はございません。

その他

(総合的に研修成果を理解するために、写真類、スタディ員が受入先機関に提出した報告書類等があれば、あわせて添付願います)



アナンブラ州エゼオウエリコミュニティ
エイズ孤児への教材・食料の配布



アナンブラ州オニチャ市
ジェネラル・ホスピタルでの 医
師によるピア・エデュケーション



12月10日 JAAIDS主催
レッドリボン賞のイベント



ラゴス州バダグリ市での
アウトリーチの様子

以上